



「人権教育月間」の活動から

11月は、本校の人権教育月間でした。校内の教室や廊下には、

「友だちに〇〇してもらってうれしかったよ」

「いつも〇〇してくれて、ありがとう」

というメッセージなどが書かれた『なかよしの木』や、お家の方から子どもたちへ向けた、あたたかなメッセージが掲示してありました。子どもたちは、カードの前で足を止めて、うれしそうに1枚ずつ読んでいる姿がありました。

また、それぞれ子どもたちが伝えたいことを言葉と絵で表現した「人権ポスター」も廊下に掲示し、みんなで見合いました。

児童会では、なかよし集会を2回実施し、全校みんなでゲームを楽しみました。グループごとに手をつなぎ、1つの輪になりながら、風船を落とさずに何回上げ続けることができるかという、「風船リレー」にチャレンジしました。



みんなでつくった「なかよしの木」



ポスターで、呼びかけたいことや伝えたいことを表しました!



つないで つないで なかよしの輪 「風船リレー」

「そっちに行ったよ。頼む」
「がんばって!がんばって!」
「ドンマイドンマイ。次に頑張ろうね」

など、自然に声をかけ、励まし合いながら、楽しい時間を過ごすことができました。

【文科省指定校 人権教育公開研究発表会】



3年「お宝ゲット」の様子から

11月20日(火)本校を会場に、文部科学省人権教育指定校事業の公開研究発表会を開催しました。3・4年の学級が授業を公開し、相森中学校区3校や県内各地の学校の先生、地域の人権教育推進員さん、人権擁護委員さん、公民館長さんなど、約80名にご参加いただきました。

公開発表会では、先ほど紹介した児童会「なかよし集会」と、3年敬組と4年愛組の授業を公開しました。参加者は、

3年特別活動と、4年算数の2つの授業を通して、日常的に人権感覚を高めていく指導のあり方について研修することができました。

参会者からは、「3年生は、トラブルになりがちな『鬼ごっこ』の中で、よりよい人間関係が築かれていた」「授業の中で、人権に対する配慮が数多く取り入れられている」「4年生の、友だちの意見にしっかり耳を傾ける姿勢が素晴らしい」という意見をいただきました。一方で、教師からの問いかけ方や、全体で同じ話題を共有して考えることなど、今後、さらに改善できることも教えていただきましたので、日々の授業で取り組んでいきたいと思います。



グループで考え方を伝え合おう！

【人権まとめ集会】

30日の5時間目には、全校の「人権まとめ集会」がありました。これまで各学級で学んできたことを、学年ごとに発表し合いました。



みんなでなかよくしたいよね



相手の気持ちを考えてみよう



学校生活の
「バトンタッチ」



点字の学習から学んだこと



どんなことがいじめになる？
みんなで考えよう！



「部落差別・結婚差別」について
考えてみました

お願い メールアドレス登録にご協力ください

本校では4月、保護者の皆様にQRコードによるメール登録をお願いしました。おかげさまで現在、8割を超えるご家庭に登録いただいております。

今後、インフルエンザの流行や大雪などによる登下校時刻の変更、学級閉鎖のお知らせ等をメールで行う予定で考えております。また、不審者情報についても発信したいと考えております。

「機種変更しました」「新たな携帯電話を持ちました」等で、新たに登録し直したいという方の再登録や、新規での登録にも、随時対応しております。その際は、担任、または教頭まで連絡をください。登録に必要な通知をお渡しします。

ぜひ、保護者の皆様全員にご登録いただければありがたいです。ご協力、よろしくお願いいたします。

